



AGS株式会社

証券コード：3648

Assuring Growth and Success with IT

－ ITで、確かな成長と成功を －

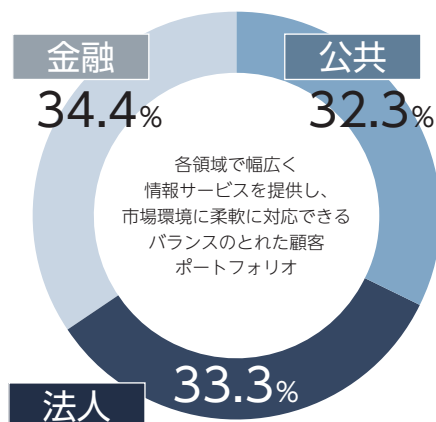
第22期 株主通信

2017年3月期 報告書
(2016年4月1日～2017年3月31日)

埼玉県内で最大規模の独立系IT企業

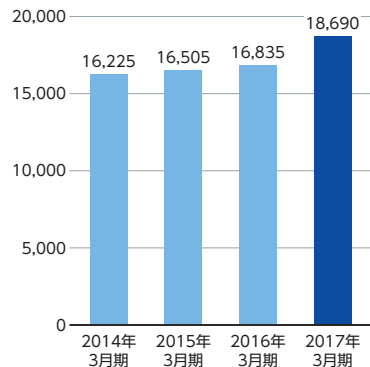
2004年7月にあさひ銀総合システム株式会社から「AGS株式会社」に社名変更した会社です。りそなグループや富士通グループ各社を株主とし、銀行系業務や地方自治体業務に強みを持っています。金融・公共・法人の各分野で、お客様のニーズに応えるシステムコンサルティングからアウトソーシングまで広範囲にわたる情報システムサービスを提供しています。

顧客領域別売上高構成比



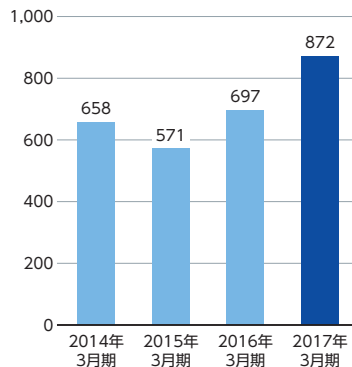
■ 売上高

(単位：百万円)



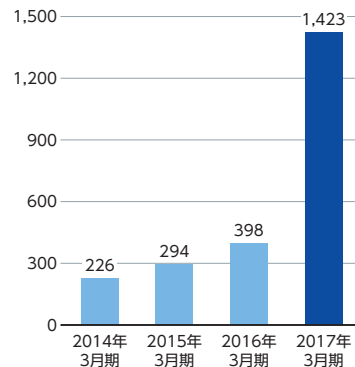
■ 経常利益

(単位：百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



(注) 2017年3月期は、退職金制度の変更などにより、1,211百万円の特別利益を計上いたしました。

お客様とともに未来を創造し、 ITで夢のある社会づくりに貢献します。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第22期株主通信（2016年4月1日から2017年3月31日まで）をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策の効果もあって、企業収益や雇用・所得環境の改善が続ぎ、緩やかな回復基調となりましたが、米国の政策不透明感や英国のEU離脱問題などの海外経済の不確実性の高まりなどの影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属します情報サービス産業においては、マイナンバーカードの利活用推進に向けたシステム投資に加え、「AI（人工知能）」や「IoT（モノのインターネット）」の活用など、ITの多様化・高度化や、サイバーセキュリティ対策の強化などにより、引き続き堅調に推移していくものとみられます。

このような経営環境の下、当社グループは、経営目標である「持続的に成長可能な経営基盤の構築」の更なる前進を図るべく、長期経営計画「Challenge2021ファーストステージ」の最終年度として、中長期的な「競争力の強化」にこだわり、新規事業・新規サービスの創出、既存サービスの改善及び業務の効率化など、事業構造の改革に取り組みまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、ソフトウェア開発及び情報処理サービスの増収などにより、売上高は、18,690百万円（前連結会計年度比11.0%増）となりました。

利益面では、人件費などの増加並びにシステム機器販売における利益率の低下があったものの、売上高の増加並びに情報処理サービスにおける利益率の改善などにより、営業利益は834百万円（前連結会計年度比26.4%増）、経常利益は872百万円（同25.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、退職金制度の変更による特別利益の計上などにより1,423百万円（同257.4%増）となりました。

2017年6月



代表取締役社長

石井 進

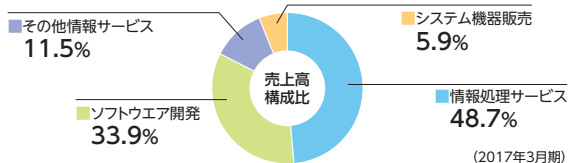
株主還元について

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに引き続きご支援を賜りたく、今期は2円増配し、年間22円の配当を実施いたしました。今後も安定した収益に基づいた継続的な配当を目指してまいります。

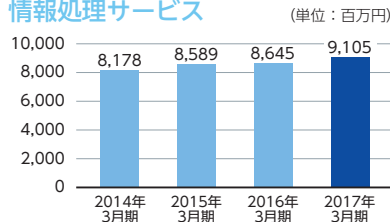
	第21期 (2016年3月期)	第22期 (2017年3月期)	第23期 (2018年3月期)
第2四半期末	10円	11円	11円 (予想)
期末	10円	11円	11円 (予想)
年間	20円	22円	22円 (予想)

POINT

- 一般法人向けソフトウェア開発案件やインフラサービスの増加
- 金融機関向けカード発行業務の増加
- 自治体向けクラウドサービスの増加



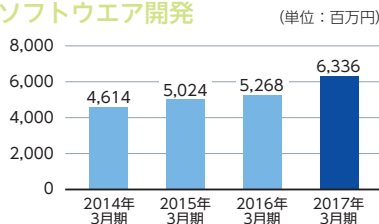
情報処理サービス



情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、大型汎用機を中心とした受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリー等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

当セグメントの業績につきましては、一般法人向けインフラサービスや金融機関向けカード発行業務及び自治体向けクラウドサービスの増加などにより、売上高は9,105百万円（前連結会計年度比5.3%増）、セグメント利益は、売上高の増加並びに利益率の改善などにより、1,282百万円（同17.0%増）となりました。

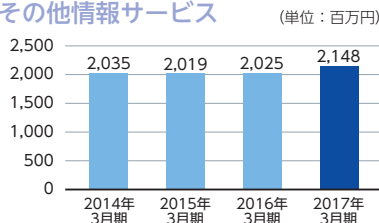
ソフトウェア開発



ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティングに始まり、アプリケーション・ソフトの受託開発やネットワークの設計・構築をトータルに提供しております。

当セグメントの業績につきましては、一般法人向けソフトウェア開発案件の増加などにより、売上高は6,336百万円（前連結会計年度比20.3%増）、セグメント利益は、売上高の増加などにより、742百万円（同30.4%増）となりました。

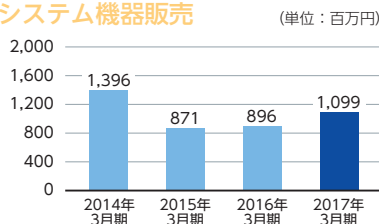
その他情報サービス



その他情報サービスでは、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

当セグメントの業績につきましては、一般法人向けBCP対策案件の受注が増加したことなどにより、売上高は2,148百万円（前連結会計年度比6.1%増）、一方、セグメント利益は、利益率の低下などにより、164百万円（同6.2%減）となりました。

システム機器販売



システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

当セグメントの業績につきましては、自治体及び公共団体向け機器販売が増加したことなどにより、売上高は1,099百万円（前連結会計年度比22.7%増）、一方、セグメント利益は、利益率の低下などにより、23百万円（同23.1%減）となりました。

アシアル株式会社との業務提携

2017年2月15日、数多くのWeb システム・スマホアプリ開発の実績を有するアシアル株式会社（東京都文京区）と業務提携いたしました。同社との提携により、新技術を活用した先進的な商品サービスを開発し、対応力の強化を図ってまいります。

業務提携の内容

当社とアシアル株式会社との間で「連絡協議会」を設置し、以下について検討

- スマホアプリのBtoB市場への浸透
- 金融機関向けFintech分野等への適用検討
- 当社データセンターを活用したスマホアプリの提供など

働き方改革の推進

AGSグループは、多様な働き方の環境を整備し、社員が最も働きやすい会社となるため働き方改革を推進しています。社員一人ひとりが個々の事情や価値観に合わせて、安心していきいきと働けるよう、さまざまな制度・施策を実施しています。それらの取組みが評価され、2017年2月14日、埼玉県から「第12回さいたま輝き 荻野吟子賞（いきいき職場部門）」を受賞いたしました。

さらに『働き方改革』の推進目標を掲げ、全社一丸となって取り組んでまいります。



育児・介護に関する制度の充実

出産休暇、育児休業、育児短時間勤務（小学校3年生修了まで）、配偶者出産休暇制度、子の看護休暇制度、介護休暇、介護休業

フレキシブルな働き方の推進

在宅勤務制度、フレックスタイム制度

社員の健康増進に向けた取組み

勤務間インターバル制度（退勤から出勤までの時間を11時間あける、2017年1月より導入）

「AGSグループ健康経営宣言」（2016年7月制定）
健康セミナー、ウォーキング大会の開催、健康マイレージの導入、社員食堂にて「健康メニュー」提供、人間ドックの有料オプション全額補助、専門健診の半額補助

働き方改革の推進目標（2021年度末まで）

1. 有給取得率100%
2. 所定労働時間内勤務（時間外ゼロ）
3. インターバル出勤取得100%

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2016年3月31日)	当連結会計年度末 (2017年3月31日)
【資産の部】		
流動資産	6,143	7,109
固定資産	8,508	8,422
有形固定資産	5,544	5,635
無形固定資産	902	839
投資その他の資産	2,061	1,946
1 資産合計	14,652	15,531
【負債の部】		
流動負債	2,642	3,007
固定負債	2,537	1,619
2 負債合計	5,179	4,627
【純資産の部】		
株主資本	9,284	10,554
資本金	1,398	1,398
資本剰余金	473	473
利益剰余金	7,412	8,682
その他の包括利益累計額	187	349
3 純資産合計	9,472	10,904
負債純資産合計	14,652	15,531

1 資産合計

受取手形及び売掛金が627百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比879百万円増加して15,531百万円となりました。

2 負債合計

リース債務が前連結会計年度末比137百万円、買掛金が108百万円、未払費用が102百万円、未払法人税等が96百万円増加した一方、退職金制度の変更に伴い、退職給付に係る負債が1,200百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比552百万円減少して4,627百万円となりました。

3 純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益1,423百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末比1,431百万円増加して10,904百万円となりました。

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
売上高	16,835	18,690
売上原価	13,312	14,723
売上総利益	3,523	3,966
販売費及び一般管理費	2,862	3,131
営業利益	660	834
営業外収益	72	70
営業外費用	35	33
経常利益	697	872
特別利益	—	1,211
特別損失	10	11
税金等調整前当期純利益	686	2,072
法人税、住民税及び事業税	253	341
法人税等調整額	34	307
当期純利益	398	1,423
親会社株主に帰属する当期純利益	398	1,423
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,027	1,438
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	△529	△678
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△521	△568
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23	191
現金及び現金同等物の期首残高	2,697	2,673
現金及び現金同等物の期末残高	2,673	2,865

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は、1,438百万円となり、前連結会計年度より410百万円増加しました。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、678百万円となり、前連結会計年度より148百万円増加しました。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、568百万円となり、前連結会計年度より47百万円増加しました。

会社概要 (2017年3月31日現在)

商号	AGS株式会社 AGS Corporation
設立	1971年7月
上場市場	東京証券取引所市場第一部 証券コード：3648
資本金	1,398百万円
事業内容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従業員	連結 936名
本社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
浦和ソリューションセンター	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社 AGSシステムアドバイザリー株式会社

役員 (2017年6月22日現在)

代表取締役社長 兼 社長執行役員	石井 進
取締役 兼 専務執行役員	藤倉 広幸
取締役 兼 常務執行役員	及川 和裕
取締役(社外)	増古 恒夫
取締役(社外)	森谷 由美子
取締役(社外)	岡田 博之
取締役(社外)	馬橋 隆紀
常勤監査役	細沼 弘幸
監査役(社外)	吉能 久芳
監査役(社外)	白田 憲司
監査役(社外)	橋本 光男

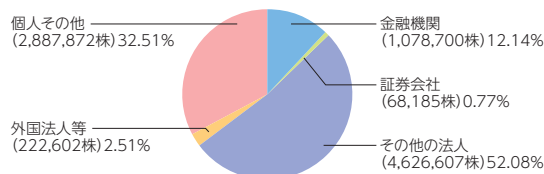
株式の状況 (2017年3月31日現在)

① 発行可能株式総数	32,000,000株
② 発行済株式の総数	8,883,966株
③ 株主数	8,008名
④ 大株主	

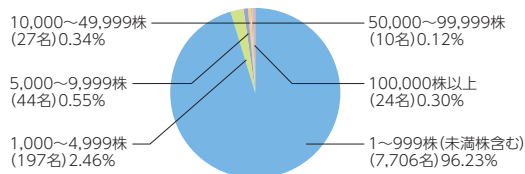
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
AGS社員持株会	1,043,300	11.74
大栄不動産株式会社	640,000	7.20
富士通株式会社	600,000	6.75
富士倉庫運輸株式会社	500,000	5.63
株式会社りそな銀行	400,000	4.50
株式会社ティー・アイ・シー	300,000	3.38
埼玉県民共済生活協同組合	300,000	3.38
武州瓦斯株式会社	200,500	2.26
千葉県民共済生活協同組合	200,200	2.25

(注) 自己株式は所有しておりません。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

定時株主総会基準日 3月31日

剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵送物送付先 〒137-8081
及 び 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話照会先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 当社ホームページ (<https://www.ags.co.jp/>) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口 お取引の証券会社等

未払配当金のお支払 三菱UFJ信託銀行株式会社
本店及び全国各支店

ホームページのご案内

AGS株式会社

検索

トップページ

▶ <https://www.ags.co.jp/>



当社のホームページでは、会社概要・事業内容をはじめ、ニュースリリース、IR情報などがご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

株主優待(VJAギフトカード)の贈呈基準を一部変更いたしました。

2017年3月31日時点で新たな基準を満たす株主様から、変更後の新制度を適用させていただいております。

○：株主名簿記載あり ×：株主名簿記載なし

【変更前】毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様

【変更後】毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様で、1年以上継続保有*する株主様

*1年以上継続保有とは、毎年3月31日及び9月30日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して3回以上記載された株主様といたします。

株主名簿記載日				優待権利 (VJAギフトカード) 2017年6月頒発送
2015年9月30日現在	2016年3月31日現在	2016年9月30日現在	2017年3月31日現在	
×	×	×	○	なし
×	×	○	○	なし
×	○	○	○	あり
○	○	○	○	あり

AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25
TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
<https://www.ags.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。